

## 取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、2021年9月期を評価対象期間とした、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その評価結果の概要をお知らせいたします。

### 1. 評価プロセス

取締役会の実効性等に関するアンケートを、2021年9月に監査等委員を含む全取締役8名を対象にウェブ方式で行い、回答を得ました。なお、今回は当社にとって初めての取り組みであったことや、実効性評価プロセスの客観性を高めることも企図し、外部機関（みずほ信託銀行株式会社）からのアドバイスを得ながら実効性評価を実施いたしました。

対象期間	2021年9月期（2020年10月～2021年9月）
主な評価項目	① 取締役会の役割・機能 ② 取締役会の構成・規模 ③ 取締役会の運営 ④ 監査機関との連携 ⑤ 経営陣とのコミュニケーション ⑥ 株主・投資家との関係 ⑦ 総括
集計	匿名性を確保するため、アンケートは外部機関に直接回答。 外部機関が、集計・分析を行う。

### 2. 評価結果の概要

当社取締役会は、外部機関より得られた他社との評価結果との比較を含め、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での審議に基づき、以下の点において、当社取締役会はその役割を適切に果たし、実効性が十分に確保できているものと分析・評価しております。

- ① 取締役のスキル、経験、知識、人数等を含めた取締役会全体としての適切なバランスが維持され、経営上の意思決定や業務執行の監督機能が十分に発揮されている。
- ② 監査等委員会設置会社という機関設計の性質を適切に活かし、社外取締役に求められる役割が明確化されており、また社外取締役と各監査機関との連携体制が構築されている。

一方で、今後さらに改善すべき点として主に以下の事項が挙げられました。

- ① 中長期的な目線での議論の深化
- ② 取締役の指名・報酬、後継者計画に関する更なる議論

### 3. 実効性向上に向けた取り組み

当社取締役会は、本評価結果について2022年9月期の取締役会の運営課題として対応してまいります。

また、今回は当社にとって初めての取り組みであったことから外部機関より得られた他社の評価結果との比較を中心とした分析を実施しましたが、取締役会の更なる実効性向上を図るべく今後も継続的に取締役会の自己評価を行うとともに、前年度の評価結果との比較分析を実施していく予定です。

以 上